



P R E S S R E L E A S E

* 本リリースは2015年7月15日(現地時間)に、英国、米国、日本をはじめ世界各国で同時に発表されたプレスリリースを翻訳したものです。

2015年7月15日

CSRとSKテレコム、世界初のスマート照明ビーコンをCSRmesh™により実現
～インテリジェント照明システムがビーコンの到達エリアを拡大し、
サービス提供コストを削減～

CSR plc(ロンドン証券取引所 略号:CSR、NASDAQ 略号:CSRE、以下「CSR」)は本日、SKテレコムがCSRmesh™テクノロジーを採用し、メッシュネットワーク化したBluetooth® Smartビーコンとしても機能する、世界初のスマートLED電球を開発したことを発表しました。このインテリジェントなCSRmeshによる照明システムでは、店舗内のほぼ無制限のスマートLED電球をネットワーク化し簡単に制御できることに加え、店内のスマートフォンユーザーの現在位置情報に基づいたお知らせや、特定顧客をターゲットにした案内を提供できるようになります。

このシステムが使う高品質なスマートLED電球は、建物の既存の照明設備にそのまま取り付けることができます。そして、インテリジェント照明としてメッシュネットワークを構築できるだけでなく、さらにビーコンとしての機能を備えています。また、店舗内の現在位置に応じた特定の情報を、顧客のスマートフォンに届けることができます。このSKテレコムのインテリジェント照明ソリューションに使われるスマートLED電球には、CSR1010™チップセットを搭載した無線認証取得済みモジュールが使用されています。

CSRmeshによって、Bluetooth Smart 対応機器がメッセージの受信やそれに従って作動するだけでなく、機器自体が周辺の機器にメッセージを伝えていくことでカバー範囲を順次拡大し、IoTを実現するメッシュネットワークへと変えていきます。照明とビーコン、メッシュ機能を組み合わせたこのユニークな連携は、今回世界で初めて実現されたものです。

CSR ビジネス・グループ担当シニアバイスプレジデントであるアンソニー・マレーは、次のように述べています。「これまでの店舗内ビーコンシステムでは、商業施設側で、売り場のいたるところに多

数の無線センサーを設置しなければならず、多くの場合、導入のための時間や費用負担が重いうえ、導入後も常にメンテナンスを行う必要がありました。今回発表したソリューションは、ビーコンシステムを、建物の基盤設備に変更を加えることなく導入できるようにするものです。LED スマートビーコンは、もともと店舗全体に万遍なく配置されている照明用設備機器にそのまま取り付けられるので、店舗内全域をカバーすることができます。また、LED ビーコンは常時電源を利用するので、サービス提供者は何百台ものバッテリー駆動機器の運用管理負担からも解放されます」

SKテレコム の最高技術責任者 (CTO) 兼コーポレート R&D センター統括責任者、アレックス・ジンソン・チョイ (Alex Jinsung Choi) 氏は、次のように述べています。「ますます多くの大規模商業施設やサービスプロバイダーが、ビーコンによる現在位置情報を活用した顧客とのコミュニケーションを店舗内に取り入れようとしています。ただ、これまでは、例えばスタジアムのような広大なスペースで何千台もの Bluetooth Smart 対応ビーコンを現実運用していくことは極めて困難でしたが、CSRmesh を搭載したスマート照明ビーコンを利用すれば、こうした課題も効果的に解消されます」

今回発表されたスマート LED ビーコンの新シリーズは、LED 電球にビーコン機能を付加する CSRmesh v1.2 プロトコルを搭載し、iOS や Android 等のモバイル機器にも対応する、商用照明システム向けに最適なエンドツーエンド・ソリューションです。

###

* 本リリースは 2015 年 7 月 15 日 (現地時間) に、英国、米国、日本をはじめ世界各国で同時に発表されたプレスリリースを翻訳したものです。原文は下記 URL よりご参照下さい。
<http://www.csr.com/news/pr/2015/csr-and-sk-telecom-launch-world-s-first-smart-lighting-beacon-csrmesh>

関連リソース

* イメージ画像

http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/sk_telecom_csr1.jpg

* CSRmesh の詳細トップページ

<http://www.csr.com/ja/products/csrmesh-development-kit>

<https://wiki.csr.com/wiki/CSRmesh> (CSR Wiki: 英文)

* CSRmesh 各種関連ビデオ (英語)

https://www.youtube.com/watch?v=QB-NyMr_ifA&feature=player_embedded

https://www.youtube.com/watch?v=SmdM0gVjCLg&feature=player_embedded#t=3

* CSR 101x シリーズの詳細トップページ

<http://www.csr.com/ja/products/bluetooth-smart-csr101x-product-family>

CSRについて:

CSRは、お客様が世界中のエレクトロニクス市場で成功をおさめるための様々な課題を解決し、変革の核となる技術を提供するため、妥協のない技術革新を進めています(push every boundary™)。ボイス&ミュージック、ドキュメント・イメージング、車載インフォテイメント、Bluetooth®Smart、屋内測位システム等の分野を中心に高性能な半導体、ソフトウェア、サービスの開発と、半導体チップへの集積を進めることで、人々のライフスタイルをより快適なものにし、途切れのないスムーズな接続とInternet of Thingsのもたらす真の恩恵を皆様にお届けします。詳細については、<http://www.csr.com/japan/> をご覧ください。また、最新の情報は、[テクニカル・ブログ](#)、[担当者ブログ](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも発信しています。また人々のワイヤレス・リスニング体験に革命をもたらしたCSRの無線オーディオ・コーデックであるaptX®の詳細については、<http://www.aptx.com/ja> をご覧ください。

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、CSRmesh™ およびCSR1010™テクノロジーを含むCSRの各種Bluetooth® Smart ソリューション並びにそれらが各種電機製品等に搭載された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象、またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法(United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明(将来の事業または業績に関する経営上の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む)を含んでいます。これらの予想に関する記述は、上記につき各々「予定である」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSRmesh™ およびCSR1010™テクノロジーを含むCSRの各種Bluetooth® Smart ソリューション並びにこれらの技術を搭載した電機製品、周辺機器等の性能、機能、または特徴の変更・向上等に際して将来発せられる一連の発表は、そのいずれもがCSRおよびその顧客の継続的評価の対象に服すものであり、実現されるか否かは不確実であり、かつCSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、証券購入の判断に利用するべきではありません。かかる予想に関する記述は、CSRの経営陣の現時点での予想と見解を示すもので、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に関与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連し、その多くはCSRによる管理の及ぶ範囲を超える事項に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト(<http://www.sec.gov>)で公開されているCSRの定期レポート(「Risk Factors(リスク要因)」または「Forward Looking Statements(将来予想に関する記述)」という見出しの下、またはその他の箇所)で詳述されていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

*Bluetooth®およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

*Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, WMM®, Wi-Fi Protected Access®, WPA®, WPA2®, Wi-Fi Protected Setup™ 及び Wi-Fi Multimedia™ はWi-Fi Allianceの登録商標です。

*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

< 報道関係お問い合わせ先 >

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本
電話:03-4570-3191 E-mail: csr_pr@ml.prap.co.jp

<お客様、ユーザー様お問い合わせ先>
シーエスアール株式会社 坂本
電話:03-6403-7100 Email: prjp@csr.com